

CONTENTS

国際ロータリー
会長紹介Sequence
01

ガバナー紹介/就任のご挨拶

Sequence
02

直前ガバナーへの謝辞

Sequence
03

ガバナー補佐就任挨拶

Sequence
04

新入会員/お知らせ

Sequence
05

1年間の編集方針

Sequence
06

地区大会のお知らせ

Sequence
07

地区大会の概要

Sequence
08

コーディネーターニュース

Sequence
09

2025年5月会員数報告

Sequence
102025-26
地区資金・基金予算書Sequence
11
 R.I.D 2550 tochigi
Facebook QR

Sequence

01 国際ロータリー会長 紹介

2025-26年度のスタートです


 2025-26 RI会長
フランチェスコ・アレツォ
イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属

フランチェスコ・アレツォ氏(イタリア、ラグーザ・ロータリークラブ所属)が、2025-26年度国際ロータリー会長として理事会により選出されました。アレツォ氏は7月1日に会長に就任します。

理事会は、6月8日のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI章典と方針に基づき、理事会は、2023年8月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、新たな会長エレクトを選出しました。

2月の2025年国際協議会で発表された2025-26年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されます。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、さまざまな背景を持つ人びと(人種、宗教、職業を超えて)をつなぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。

アレツォ氏は、矯正歯科医として個人の診療所を構えています。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして国際的に活動しています。ラグーザ県のNational Association of Italian Dentistsの副会長であり、National Trust for Italyの創設者であり、同団体で7年間ラグーザ県を代表しました。また、マルタ主権騎士団内の名誉と献身の騎士です。

30年以上のロータリー会員であるアレツォ氏は、合同戦略計画委員会副委員長、RI理事、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理を歴任したほか、ロータリー財団のメジャードナーおよびベネファクターでもあります。アナ・マリア・クリシオーネ夫人は、観光業界の起業家で、お二人には二人のお子さんがいます。

— 2025年6月14日

Sequence

02 ガバナー紹介 / 就任のご挨拶

「ロータリーは人をつくり 友情を育む」



2025-26 ガバナー
二十二 修
(宇都宮北RC)

新たな年度の幕開けにあたり、皆さまにご挨拶申し上げます。

本年度、国際ロータリー会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・マルゴ氏が掲げたメッセージは、「Unite for Good (よいことのために手を取りあおう)」です。

マリオRI会長は、ロータリーにおける最大の資産は「会員」であると強調され、会員の増強こそが我々の最も重要な使命であり、未来を築く鍵であると語られました。

クラブの明日を形づくるのは、私たち一人ひとりの行動と情熱です。ぜひとも、多くの仲間とともに、希望に満ちた一步を踏み出していただきたいと願っています。

そして、本年度の地区キーメッセージは、「ロータリーは人をつくり 友情を育む」です。

ロータリーは、奉仕を通じて人格を磨き、人と人との間に揺るぎない信頼と友情を育む場です。この理念こそが、私たちの原点であり、進むべき道を照らす灯火であると信じています。

この一年間、ロータリアン一人ひとりが改めて「ロータリーの目的 (Object of Rotary)」を胸に刻み、私たちが描く未来像——「ロータリーのビジョン声明」の実現に向けて、力を合わせて邁進してまいりましょう。

そのためには、クラブの明確なビジョンと、それを支える具体的な行動計画が不可欠です。

クラブの将来像をクラブ会員と共有し、対話を重ね、継続的かつ実行力のある計画を立てて、より良いクラブの姿を共に築いていただければと思います。

Unite for Good. Unite for Club.

ともに手を取りあいロータリーを楽しみましょう。

[地区目標と方針](#)[▶ 地区ホームページへ](#)

2025-26年度 国際ロータリー第2550地区ガバナーとして新たな一歩を踏み出すにあたり、これまで地区のために多大なるご尽力を賜りました市田 登 直前ガバナーに、地区内すべてのロータリアンを代表し、心より厚く御礼申し上げます。

市田直前ガバナーにおかれましては、「～ロータリーを楽しもう～」というメッセージのもと、常に朗らかに、そして情熱をもって、地区内クラブの活性化に尽力されてられました。

その姿勢は、私たちロータリアン一人ひとりの心に深く刻まれております。

特に、地区内一斉で実施された世界ポリオデーの活動におけるリーダーシップ、そしてシンガポールでの国際大会へご夫妻でご参加され、地区内ロータリアンに温かく接していた様子は、ロータリーの楽しさと学びの本質を体現されていたように感じます。

私自身、市田直前ガバナーのお導きのもと、「楽しむ」ことの中にある「学び」や「成長」の大切さを改めて実感し、多くのことを学ばせていただきました。

この2年間、ガバナーノミニー、ガバナーエレクトとしてご指導をいただいたことを、これからのガバナーとしての歩みにしっかりと生かし、地区内のクラブがますます元気なクラブとなるよう力を尽くしてまいります。

どうか今後ともご健康にご留意のうえ、直前ガバナーとして引き続き温かいご助言とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



末筆ながら、これまでのご貢献に対し、改めて心からの感謝を申し上げます。

2025-26 ガバナー

二十二 修(宇都宮北RC)

トップページへ
戻ります

Sequence

04 ガバナー補佐就任挨拶

地区目標を達成するための具体的行動目標について



第1グループ
ガバナー補佐
渡辺 渉
(西那須野RC)

この度2025-2026年度 二十二修ガバナー年度 第1グループのガバナー補佐を拝命いたしました西那須野ロータリークラブの渡辺渉と申します。この重責を懸命に務めさせていただきます。皆様のご協力宜しくお願いいたします。

2025-2026年度のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長はロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。これが、2025-2026年度のRI会長のメッセージです。

：「よいことのために手を取りあおう」

このメッセージの下、国際ロータリー2550地区・二十二修ガバナーは次の地区方針を掲げています。

《行動指針》ロータリー運動の目的「ロータリーは人をつくり友情を育む」とし、ともに行動しロータリーを楽しむことで、友情を育み自分自身の成長につなげることと思います。今一度ロータリーの目的・ビジョン声明を思い起こし、ともに行動しよう。

《行動目標》ロータリーのビジョンを実現するためには計画が必要です。ロータリー行動計画(行動指針)を実践しましょう。

①参加者の基盤を広げる(Reach)

- ・知り合いを広める：ともに行動する仲間をさらに増やすための計画的かつ継続的行動をお願いします。
各クラブにて純増2名以上を目指してください。
- ・更に元気なクラブを目指す：長期計画を知り戦略計画の立案をお願いします。
- ・新クラブの設立：革新的な新しいクラブの設立をご支援ください。
- ・公共イメージの向上：クラブの活動を積極的に発信してください。

②より大きなインパクトをもたらす(Impact)

- ・ポリオ根絶まであと一歩。
- ・ロータリー年次寄付150ドル ポリオプラス基金30ドルをお願いします。
- ・ポリオプラスソサエティ ポールハリスソサエティ・ベネファクターへの入会を奨励します。
- ・ロータリー財団グローバル補助金および地区補助金を積極的に活用しましょう。
- ・米山記念奨学会への協力を推奨します：1人当たり19000円の寄付をお願いします。
- ・未来への投資：青少年奉仕・ロータリー財団奨学生・米山記念奨学生各プログラムへの積極的参加をお願いします。

③適応力を高める(Adapt)

- ・行動計画(アクションプラン)の理解を深め戦略計画の立案をお願いします。
- ・クラブセントラル・ラーニングセンターの計画的有効活用をお願いします。
- ・ロータリーの友の活用：ロータリーを知り変化に対応するため各情報リソースの積極的活用をお願いします。

④参加者の積極的なかわりを促す(Engagement)

- ・効果的な奉仕プログラム：地域社会のパートナーとともに持続可能な変化をもたらすプログラムに挑戦しましょう。
- ・ロータリーを語ろう：クラブの垣根を越えてロータリーのストーリーを熱く語りあいましょう。

私はガバナー補佐として、上記のRI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴのメッセージ、そして二十二修ガバナーの地区方針をよく理解し、第1グループの会員のお役に立てるよう努力いたします。会員の皆様、ご指導ご支援を宜しくお願い申し上げまして、ガバナー補佐就任のご挨拶とさせていただきます。



第2グループ
ガバナー補佐
小野 好史
(氏家RC)

2025-26年度第2グループガバナー補佐を拝命いたしました氏家ロータリークラブの小野好史でございます。

各クラブの皆様のご協力をいただきながら、二十二 修ガバナーとクラブのパイプ役として、一生懸命努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

2025-26年度マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長メッセージは

「よいことのために手を取りあおう」です。(UNITE FOR GOOD)

ロータリーの未来を確かなものにするには会員増強に力を注ぐこと。最大の財産は会員です。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。と締めくくっています。

二十二 修ガバナー地区行動指針は「ロータリーは人をつくり友情を育む」です。

ロータリーの目的(Object of Rotary)・ビジョン声明を思い起こし行動しよう。

ロータリーのビジョンを実現するために行動計画を実践しよう。

行動計画を立てるための4つの優先事項

- ①参加者の基盤を広げる(Reach)
- ②より大きなインパクトをもたらす(Impact)
- ③適応力を高める(Adapt)
- ④参加者の積極的なかわりを促す(Engagement)

ロータリーの行動計画は、進化する世界において持続可能な良い変化を生むために、より多くの人々が手を取り合って行動するというビジョンを達成するための道筋を示すものです。

より多くの仲間を迎え入れより多くのインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて行動を起こす時が来ています。

最後に、RI会長、二十二ガバナーの地区目標と方針に沿って、**各クラブの計画、目標達成のためまた、より多くの人々が手を取り合って行動できるよう活動していきたい**と思いますので、第2グループの会長、幹事、会員の皆様どうぞよろしくお願い致します。



第3グループA
ガバナー補佐
大矢 裕啓
(宇都宮RC)

この度、二十二修ガバナーの下で第3グループAのガバナー補佐を務める事になりました宇都宮ロータリークラブの大矢裕啓です。皆様のご支援のもと二十二修ガバナーと第3グループAとのパイプ役を果たすべく精一杯努力いたしますので1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

2025-26年度国際ロータリーマリオ・セザール・マルティス・デ・カマルゴ会長は「革新・継続性・パートナーシップ」の三つの柱を基に「会員増強と活性化」を目標に掲げられ活動をスタートいたします。国際ロータリー変革の潮流は想像以上に激しいものを感じます。これらを感じながら下記の通り重要課題を掲げます。

- 1.「ロータリーの目的」の確認
- 2.クラブ活性化に向けた行動計画の推進 ～3YEAR ROLLING TARGETS
- 3.会員増強、退会防止対策
- 4.ロータリー財団への寄付協力とグローバル補助金、地区補助金の積極活用
- 5.米山記念奨学会への寄付協力と米山奨学生の支援
- 6.参加者の基盤を広げる工夫

10月26日(日)に開催するポリオ根絶活動募金にはロータリー関係者のみならず地域社会のパートナーとともに活動し参加者基盤を広げ、知り合いを広める事ができるようひと工夫いただきますようお願いいたします。

トップページへ
戻ります



Sequence

04 ガバナー補佐就任挨拶

地区目標を達成するための具体的行動目標について



第3グループB
ガバナー補佐
見玉 博利
(宇都宮さつきRC)

2025～2026年度、第3グループBのガバナー補佐を務めさせていただきます、宇都宮さつきロータリークラブの児玉博利と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

地区ガバナーと各クラブは、対等かつ2550地区を支える車の両輪であり、ガバナー補佐は、その両輪をつなぐシャフトであり時には潤滑油の役割を持っていると考えております。

具体的には、地区ガバナーがその方針をクラブに向けて発信するための土台作りを行い、逆にクラブからガバナーに対するご要望等をお伝えするといった仕事です。

そして、そのような業務を行うためにガバナー補佐訪問をはじめとしたクラブ訪問、クラブ会長および幹事との綿密な打ち合わせを行うことがその目標達成に必要なことと考えております。

対等な関係を通してそれぞれが発展するという、地区とクラブとの関係を強化できるよう、黒子としての立場をわきまえ、精一杯活動させていただきたいと考えております。何かご要望がある場合には迅速に対応させていただきますので、さまざま申しつけていただければ幸いと存じます。

一年間よろしくお願いいたします。



第4グループ
ガバナー補佐
篠崎 宏司
(下野上三川RC)

この度、第4グループガバナー補佐を務めさせていただきます、下野上三川ロータリークラブの篠崎でございます。各クラブ会員の皆様のご協力をいただきながら楽しく1年間を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2025-26年度のRI会長マリオ・デ・カマルゴ会長のテーマは、「ユナイット・フォー・グッド」です。各クラブがロータリーのプロジェクト活動を創造し実行することにより、ひとつひとつの実績が積み上げられ、想像していなかったマジックを生み出し、会員皆様のロータリー人生を変えるかもしれません。

このテーマを受け第2550地区の二十二 修ガバナーは「地区目標」に～ロータリーは人をつくり友情を育てる～のもと「クラブ運営方針と重点目標項目」として。

- 1.会員増強(純増2名目標)に取り組むとともに、退会防止の徹底
- 2.ポリオ撲滅の推進
- 3.地区グループでの共同活動
- 4.ロータリー財団の有効活用
- 5.米山記念奨学生の支援
- 6.DX化への対応
- 7.ロータリーの友の活用

各クラブ会員の皆様によって二十二ガバナーの目標である、ロータリー活動を楽しみながら信頼のあるマジックを、クラブ内に地域社会に多数積み上げていきましょう。



第5グループ
ガバナー補佐
加藤 政弘
(小山中央RC)

この度2025～26年度第5グループガバナー補佐を務めさせていただきます小山中央ロータリークラブの加藤政弘でございます。1年間二十二修ガバナー及び地区と第5グループのパイプ役として精一杯努力してまいりますので宜しくお願い致します。二十二修ガバナーは「ロータリーは人をつくり友情を育む」を行動指針とし、ロータリーのビジョンを実現するために以下の四つの行動目標を挙げました。

- ①参加者の基盤を広げる
- ②より大きなインパクトをもたらす
- ③適応力を高める
- ④参加者の積極的なかわりを促す

これらの行動目標の実現のため第5グループの各クラブを訪問し、クラブ存続の為には会員増強が不可欠であること。そして新入会員が入ることによりクラブが活性化し、より大きな奉仕活動につながることを呼びかけていきたいと思えます。10月に開催される小山駅前イベントの西口祭りにてポリオ根絶の募金活動を行い、他団体と積極的に関わり、公共イメージの向上に努めたいと思えます。



第6グループ
ガバナー補佐
須藤 隆志
(栃木RC)

この度、二十二ガバナーのもとで第6グループガバナー補佐を拝命いたしました栃木ロータリークラブの須藤隆志でございます。

二十二ガバナーはロータリー運動の目的として、「ロータリーは人をつくり、友情を育む」を掲げています。ともに行動しロータリーを楽しむことで、人をつくり友情を育んでまいりましょう。行動目標の中で示されている4つの優先事項、つまり「参加者の基盤を広げる」「より大きなインパクトをもたらす」「適応力を高める」

「参加者の積極的なかわりを促す」の中にある各目標の達成のための戦略的な行動計画を各クラブにおいて継続的に作成し、その達成状況のフォローとガバナーへの報告がガバナー補佐の重要な仕事の一つであると考えています。そのために定期的に各クラブを訪問させていただきたいと思えます。

ロータリーは今、大きく変わろうとしています。旧態依然としたマンネリ化した活動は見直すべきものは見直し、ぜひ新たな視点でクラブの行動計画を継続的に策定し、クラブの成長を共に目指していきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

トップページへ
戻ります



Sequence

04 ガバナー補佐就任挨拶

地区目標を達成するための具体的行動目標について



第7グループ
ガバナー補佐
和貝 益男
(今市きぬRC)

この度、二十二ガバナーの下第7グループのガバナー補佐を拝命いたしました今市きぬロータリークラブの和貝益男と申します。

2025-26年度国際ロータリー第2550地区二十二ガバナーと第7グループの繋ぎ役として皆様方のクラブが楽しく元気になるように努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2025-26年度RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長はロータリーの最大の財産は会員であると言っています。クラブの高齢化に対する唯一の策は絶えず新会員を迎え入れること。それにより新しい継続性が生まれ奉仕の力も広がり新しい繋がり

が出来て革新が出来るとも言っています。その達成の為に自ら行動し「よいことのために手を取りあおう」とメッセージを送りました。一方、二十二ガバナーの行動指針「ロータリーは人をつくり友情を育む」行動目標に掲げられた4つの優先事項、

- 一. 参加者の基盤を広げる。
- 二. より大きなインパクトをもたらす。
- 三. 適応力を高める。
- 四. 参加者の積極的なかわりを促す。

これらはRI会長の言葉を具現化させる為の二十二ガバナーの行動計画であり、私もこれらの事を十分に理解し各クラブに伝え、さらに元気で楽しいクラブになるように努力したいと考えます。各クラブの会長、幹事、会員の皆様方のご協力どうぞ宜しくお願い致します。



第8グループ
ガバナー補佐
戸塚 守
(足利東RC)

このたび、2025-26年度 第8グループのガバナー補佐を拝命いたしました、足利東ロータリークラブ所属の戸塚 守と申します。微力ではございますが、皆様のお力添えを頂きながら務めを果たしてまいり所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

2025-26年度、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長は、ロータリー会員は行動する人である。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こす。そして「よいことのために手を取りあおう」とのメッセージを発信されました。

これを受け、二十二 修ガバナーは「ロータリーは人をつくり、友情を育む」との方針を掲げられました。まさに私たちの活動の原点を言い表したものと深く感じております。

その方針のもと、以下の行動目標が示されております

1. 参加者の基盤を広げる
2. より大きなインパクトをもたらす
3. 適応力を高める
4. 参加者の積極的なかわりを促す

これらの目標がグループ全体に浸透し、具体的な活動へとつながることで、各クラブのさらなる活性化が図られるよう努めてまいりますので、第8グループの会員の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



第9グループ
ガバナー補佐
青山 敏朗
(佐野RC)

第9グループの皆様、こんにちは。佐野RC所属の青山敏朗と申します。

この度、第9グループのガバナー補佐を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

マリオRI会長はロータリーの財産は会員であり、クラブ基盤の強化は会員増強にあると強いメッセージを出しています。二十二ガバナーのキーメッセージは「ロータリーは人をつくり友情を育む」とあり、会員のロータリーに対する意識向上を唱えています。また、鈴木ラーニング・ファシリテーターはインクルーシブなクラ

ブ、つまり、個性が認められ、それによって居心地が良いクラブであるべきと唱えています。

皆様の話を聴いて感じたのは、ロータリーの原点に立ち戻り「ロータリーの目的」の実践にあると思いました。そして、目的の第1にある、知り合いを広めは会員増強に繋がる考え方でもあると思います。

居心地の良いクラブ、言いかえれば、魅力的なクラブにするには、改革へのタメライをなくし、年配会員と若い会員とのコミュニケーションを深めることが第一歩かと思います。例会では愚痴や不平不満を聞くことが出来ません。これからは、例会を離れてそれを聞き話す場を増やしていきませんか。増強するなら胸を張って入会を勧められるクラブでありたいときっと皆さんも思っていることでしょう。第9グループ全クラブの目標の一つに会員増強があると承知しています。お互い切磋琢磨し目標達成を目指しましょう。

ガバナー補佐として各クラブがより良くなるお手伝いをさせて頂き、二十二ガバナーへ良い報告ができますよう皆様と一緒にこの一年を過ごしたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

[一年交換学生募集要項](#)[▶ 地区ホームページへ](#)[地区内・外 主要行事予定](#)[▶ 地区ホームページへ](#)[送金カレンダー](#)[▶ 地区ホームページへ](#)[クラブ定例報告カレンダー](#)[▶ 地区ホームページへ](#)[例会場/事務所一覧](#)[▶ 地区ホームページへ](#)[ガバナー公式訪問日程表～お願い～](#)[▶ 地区ホームページへ](#)[地区組織図](#)[▶ 地区ホームページへ](#)[\(公財\)ロータリー米山記念奨学会ニュース](#)[▶ 「ハイライトよねやま」へ](#)[トップページへ
戻ります](#)

Sequence
05 新入会員 / お知らせ

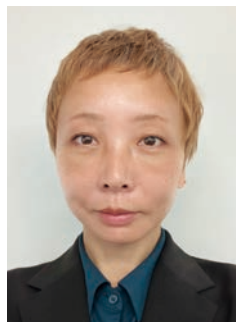
新入会員紹介



栃木 RC

(株) 足利銀行栃木支店
支店長**田中 徹**

(たなか とおる) 2025.4.28入会

ロータリークラブの理念、目的を
十分理解し活動してまいります。

鹿沼東 RC

佐野屋建設(株)
代表取締役**高内 麻恵子**

(たかうち まえこ) 2025.4.2入会

地域の皆様の守り手として尽力して
参ります。宜しくお願い致します。

足利東 RC

水戸証券(株)
支店長**関谷 昌幸**

(せきや まさゆき) 2025.5.13入会

未熟ではございますが、奉仕の精神を学び、
地域社会に貢献したいと思います。

今市 RC

(株) 日光食品
代表取締役**吉澤 隆明**

(よしざわ たかあき) 2025.6.1入会

宜しくお願いします。



今市 RC

(株) 足利銀行今市支店
支店長**小金井 信治**

(こがねい のぶはる) 2025.6.1入会

足利銀行今市支店の小金井です。
どうぞよろしくお願い致します。

今市 RC

(株) 大日光・エンジニアリング
代表取締役**山口 琢也**

(やまぐち たくや) 2025.6.1入会

微力ながら、地元日光の発展の為に頑張っ
てまいります。宜しくお願いします。

お知らせ

脱会のお知らせ

黒羽ロータリークラブ

鹿沼中央ロータリークラブ

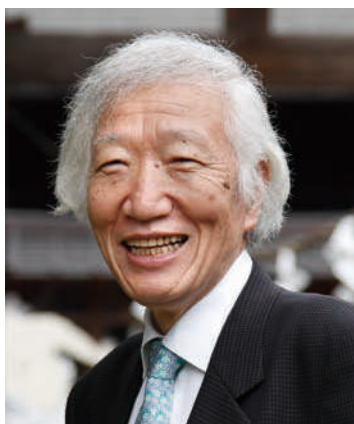
脱会日 2025年6月30日

お詫びと訂正

2025-26 年度地区委員・クラブ会長・幹事 / 名簿に訂正がございます。
正しくは下記のとおりです。

真岡 RC 会長 柳田 尚宏様(ふりがな) やなぎだ → やなぎた

ここに訂正とお詫び申し上げます。

Sequence
06 1年間の編集方針

ガバナー月信編集委員長
中村 弘
(宇都宮北RC)

本年度のガバナー月信は、宇都宮北ロータリークラブのガバナー月信編集委員会が作成に携わって参ります。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

ガバナー月信の本来の役割は「ガバナーによるクラブ運営へのアドバイスやクラブ会長との情報交換の手段の一つ」であると捉えています。現在は地区のホームページも整備されており有益な情報が多数掲載されていることから、ガバナー月信との記事の重複掲載を避けることで、できる限りページ数を減らし、会員の皆さまにも読みやすくシンプルな内容に編集していく方針です。

また、購読者数を増やしたいとの考えから、ガバナー月信が発行されたタイミングで各会員あてにメールでURLを送信し、ワンクリックでガバナー月信が閲覧できるように工夫して参りたいと考えております。

そのため、本年度のガバナー月信は試験的に従来のPDFでの掲載と同時に電子ブック版を閲覧できるように準備を進めてきました。拡大・縮小や検索、付箋貼りなどさまざまな電子ブックの機能が活用できることと同時に、実際の本のページをめくるような感覚で快適にガバナー月信を閲覧することができるようになるものと期待しています。

記事につきましては、ガバナー公式訪問時の様子を記した従来までの記事を取りやめ、各クラブの特徴やクラブ独自の奉仕活動の紹介など、より具体的にクラブの情報がガバナーや他クラブの会員に届くように投稿依頼の内容を変更して参ります。1年かけて順番にすべてのクラブを紹介して参りたいと考えておりますので、投稿依頼が届いた際には、特にクラブ幹事さまにご協力をお願いいたします。

さらに、青少年にかかわる記事を積極的に取り上げ、青少年交換学生やインターアクトクラブの活動などを知っていただくことで、各クラブの青少年奉仕活動への理解を促進していければ幸いと考えております。

地区委員会やガバナー補佐と連携を図りながら、各クラブへの情報提供のお役に立てるよう努力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

トップページへ
戻ります



Sequence

07 2025-26年度 地区大会のお知らせ



2025-26
地区大会実行委員長
上野 一典
(宇都宮北RC)

ロータリアンの皆様、2025-26年度のRI2550地区地区大会は、県都宇都宮におきまして、二十二修ガバナー主催で開催されます。今年度のテーマは「交流を拡め、友情を深めよう。」です。この度の地区大会は、日本全国はもとより海外からのお客様も多数お迎えし、姉妹地区提携調印式も予定されており、国際色豊かな大会になるものと期待されます。

二十二修ガバナーは、私ども宇都宮北ロータリークラブとして3人目のガバナー輩出となりました。また本年度は、当クラブにとりましても、創設40周年の記念すべき年であり、会員も二重の喜びであふれております。

皆様ご存じのように、宇都宮には、多くの誇るべき名物がございます。

◎「カクテルの街」

(=カクテル日本一に輝く多くのバーテンダーを輩出)

◎「餃子の街」

(=消費量日本一を争う おいしい餃子)

◎「JAZZの街」

(=JAZZトランペッター渡辺貞夫さんは宇都宮のご出身)

どうかいろいろな当地ならではの雰囲気をご堪能いただき、楽しい思い出をお持ちかえりいただければと存じます。

宇都宮北ロータリークラブ会員をあげて、おもてなし致しますので、ぜひお越しください。

“宇都宮で お会いしましょう。”



地区大会PR動画

Sequence

08 地区大会の概要

9/26(金) 記念ゴルフ大会 □会場／宇都宮カンツリークラブ

9/27(土) 会長・幹事会/地区指導者育成セミナー/RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 □会場／ベルヴィ宇都宮

●会長・幹事会

13:00 受付・登録開始
開会・点鐘
国歌並びにロータリーソング斉唱
開会の言葉
RI会長代理並びにご来賓の紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理ご挨拶
地区会計収支報告、監査報告、承認
2024-2025年度各種表彰
米山記念奨学会及びロータリー財団

14:45 閉会

●地区指導者育成セミナー

15:00 開会
ガバナー挨拶
地区ラーニングファシリテーター挨拶
並びに育成セミナー講師のご紹介
講演 RI会長代理
質疑応答、謝辞

16:30 閉会・点鐘

●RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

17:00 受付・登録開始
RI会長代理ご夫妻入場
開会の言葉
歓迎の言葉
RI会長代理ご夫妻・ご来賓紹介
ガバナー挨拶
RI会長代理ご挨拶
乾杯・祝宴
手に手つないで
閉会の言葉

20:00

オープニングコンサート
倉沢大樹 & JAZZカルテット(ハッピートーク)



倉沢大樹 & JAZZカルテット(ハッピートーク)

倉沢大樹 [ピアノ]

宇都宮市出身。1995年より毎年、ヤマハ音楽出版より作品集を出版するなど、アレンジャーとしても活躍。1998年長野冬季オリンピックでは、長野市内の「セントラル・スクエア」において行われた、スキー競技など屋外競技の表彰セレモニーの際のすべての演奏を担当。オリンピックを華やかに盛り上げた。1999年には、エレクートン発売40周年を記念して発売したオムニバス版CDアルバムに、現在第一線で活躍中のエレクートン・プレーヤー12人中の一人として参加。[Well you needn't]「朝日のようにさわやかに」の2曲を収録。マリリン、デュークエイセス、島田歌穂、PONTA BOX、大坂昌彦、東原力哉などと共演。現在は、全国各地でのデモ演奏やコンサートのほか、地元宇都宮では、ライブハウスでジャズ・ピアニストとしても活動中。

【ハッピートークプロフィール】

●フルート 稲見郁恵 宇都宮市生まれ。上野学園短期大学音楽科(フルート専攻)卒業。オーストリアに4年間留学。首都圏に於いて各種イベント、ホテルラウンジ、パーティー演奏、チャペル演奏等、クラシックをベースにポピュラーから民謡ユニット、JAZZまで多彩な演奏活動を行っている。●テナーサクソ 岡田嘉清 栃木県小山市出身。幼少より音楽に触れ大学からビッグバンドにてサクソをはじめる。ジャズの良き時代50、60年代を彷彿とさせる正統派なバップサウンドを持ちジャズ親父キラーの異名を持つ。またその音色をいかしたバラード、歌の伴奏の評価は非常に高い。●ベース 野中英士 栃木県高根沢町生まれ。ルーツ音楽院ベース科卒。東京芸術大学別科コントラバス専攻修了。現在はジャズグループでの演奏を中心に、コントラバスソロ(ジャズ&クラシック)にも情熱を傾けている。コンサート、ライブ、レコーディング、後進の指導などジャンルを越えて幅広く活躍中。●ドラム 青木孝之 宇都宮市生まれ。音楽専門学校時代は故・日野元彦氏、本田珠也氏に師事。現在、県内外でライブハウス、ホテル等で活躍の他、後進の指導にもあたっている。

9/28(日) 青少年の集い/地区大会 本会議 □会場／ライトキューブ宇都宮

●青少年の集い

9:30 開会の言葉
歓迎の言葉
ガバナー挨拶
ご来賓・地区外ロータリアン紹介
趣旨説明
アイスブレイク
講演
パネルディスカッション
休憩
対話
対話の共有
総評
閉会の言葉
集合写真

11:40

●地区大会 本会議

12:20 受付・登録開始
RI会長代理ご夫妻入場
開会・点鐘
国歌並びにロータリーソング斉唱
物故者に対し黙祷
開会の言葉
歓迎の言葉
RI会長代理紹介
ご来賓・地区外ロータリアン紹介
ガバナー挨拶並びに地区現況報告
RI会長代理挨拶並びにRI現況報告
大会委員会報告並びに上程
登録委員会・資格審査委員会
決議委員会・大会決議案採択
選挙管理委員会

記念講演
公益財団法人 結核予防会
理事長 尾身 茂
「ポリオ根絶ーロータリーの期待と感謝ー」

来賓祝辞
栃木県知事 福田 富一様
宇都宮市長 佐藤 栄一様

記念事業目録贈呈
①栃木県 輝くとちぎの人づくり推進基金へ
②宇都宮市 宮っこの居場所づくり事業へ
③ロータリー財団
④米山記念奨学会
RI会長代理祝辞
ガバナー補佐紹介
地区内参加クラブ紹介

各種表彰
記念品贈呈
RI会長代理ご夫妻・直前ガバナー・
地区幹事・直前会計長
ガバナーエレクト・ガバナーノミニ紹介
ガバナーエレクト挨拶
ガバナーノミニ挨拶
次期地区大会開催ホストクラブ
代表挨拶
RI会長代理所感
ガバナー謝辞
閉会の言葉
閉会の点鐘

17:15

●アフターパーティー

17:30 開会の言葉
乾杯
歓談
18:30 中締め



記念講演 講師

尾身 茂 Shigeru Omi

生年月日 1949年6月11日

現 職 ・公益財団法人結核予防会 理事長、代表理事
・名誉世界保健機関(WHO) 西太平洋地域事務局長
・独立行政法人 地域医療機能推進機構 名誉理事長
・自治医科大学名誉教授
・日経・FT感染症会議 議長
・ロータリー・ポリオ根絶大使

【職歴】 1967年:東京教育大学附属駒場高等学校(現在筑波大学附属駒場高等学校)に在学中にAmerican Field Service(AFS)の交換留学生として、1年間アメリカに留学。1978年:自治医科大学卒業(一期生)。1978-1987年:東京都立墨堤病院に於いて多科ローテーション臨床研修修了後、伊豆七島を中心に地域医療に従事。1987-1989年:自治医科大学予防衛生学教室助手。1990-1998年:WHO西太平洋地域事務局にて拡大予防接種課長、感染症対策部長などを歴任(西太平洋地域の小児麻痺根絶対策などで陣頭指揮)。1999年2月:第5代WHO西太平洋地域、地域事務局長(SARS:重症急性呼吸器症候群の制圧及び各加盟国の地域医療対策や結核対策等で陣頭指揮)。2009年5月:日本政府新型コロナウイルス対策本部専門家諮問委員会委員。2014年4月-2022年3月:JCHO理事長。2016

年6月:国際健康危機タスクフォースのメンバー(国連総長からの要請)2020年2月:新型コロナウイルス感染症対策専門家会議副座長。2021年4月:新型インフルエンザ等対策推進会議新型コロナウイルス感染症対策分科会分科会長。2022年4月:公益財団法人結核予防会代表理事、JCHO名誉理事長。2022年6月:公益財団法人結核予防会理事長、代表理事 現職
【著書等】 ◎『パンデミック(H1N1)2009ー我が国の対策の総括と今後の課題ー』公衆衛生Vol.74(8)医学書院 2010 ◎『医療の輪が世界を救う』『(医の未来)』(2011岩波新書・矢崎義雄編)第5章 ◎『WHOをゆく』医学書院 2011 ◎『1100日間の葛藤 新型コロナ・パンデミック、専門家たちの記録』日経BP 2023

トップページへ
戻ります



コーディネーター NEWS

2025年7月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第2地域 2024-25年度 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 若林 英博（東京麹町 RC）

4月のRI理事会において、「ロータリーコーディネーター(RC)」の呼称が「ロータリー会員増強コーディネーター(RMC)」に変更されました。私たちの活動目的が、より一層明確となりました。クラブがもっと元気になるよう、クラブの活性化と会員増強に注力してまいります。

皆さまのクラブがより活気に満ち、地域に根ざした存在として輝き続けるよう、私も微力ながらお力添えできればと存じます。また、今年度、コーディネーターニュースの取りまとめも担当いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



「行動が変われば結果が変わる」—各地で既に第一歩が始まっています—

ご相談いただいた地区・クラブにおいて、私からご提案している「会員増強のための具体的な3つの手法」をご紹介します。お役立てください。

←パワーポイントなどの資料データはこちら https://drive.google.com/drive/folders/1DcVva6EoPLclwPsi968L59ZFmSZpFmi?usp=drive_link

① 戦略的オープン例会の勧め：

戦略的オープン例会では緻密な行動でゲストの入会率を上げていきます。ゲストは心細さ、アウェイ感、居心地の悪さ、不安を感じるものです。年間スケジュールに「戦略的オープン例会」を設定し、計画的かつ丁寧な準備を行うことで、ゲストにとって温かく、安心して参加できる雰囲気をつくります。皆さんでお誘いをして、複数のゲストをお招きし、クラブの魅力を発信しましょう。

具体策：招待状を丁寧に発送（口頭のみはNG／元会員・学友も対象に）・共通点のあるメンバーと同卓になるよう座席を工夫・出迎えやテーブルマスターの配置など役割分担を明確に・ゲストの名前を呼び、笑顔で賑やかに歓迎・知名度や人気のある卓話者を招く・ゲストにもマイクを渡し、自己紹介や感想を話してもらう・クラブ週報や地域のロータリー雑誌を贈呈し、ロータリーを紹介・例会後、礼状や当日の写真を送付して定期的にフォローアップ・地区リーダーにゲスト歓迎のスピーチを依頼・会長から閉会時に歓迎のメッセージを伝える。

ドキドキ ドキドキ



② ロータリー衛星クラブの設立：創立会員が8名集まれば、スポンサークラブのもとで衛星クラブの設立が可能です。若手経営者や学友など、時間や会費の制約で入会をためらっていた方を対象にすることができ、クラブの柔軟な運営と新たな活力の創出につながります。スポンサークラブと衛星クラブの会員数は合算され、スポンサークラブにとっても会員数増加につながります。衛星クラブは独自の理事会をもち、定款細則に基づいて運営されますので、自主性を保ちながらも、ロータリーの理念を共有することができます。



創立会員8名

③ クラブ独自の会員種類の導入による退会防止と次世代会員の入会促進：クラブ独自の会員種類を導入し、退会の抑制と多様な層からの入会促進を図りましょう。会費の減額や入会金の免除など、金銭的な負担を軽減する柔軟な会員制度により、退会希望者の慰留・会員家族のスムーズな入会導線の確保・多様な人材を受け入れるクラブ風土の形成が実現します。

具体的な会員種類：シニア会員制度（高齢会員の退会防止と「生涯ロータリアン」化を支援）、家族会員制度（配偶者やご子息などの入会を促進し、他団体流出を防止）・WEB会員制度（対面参加が困難な方や遠方・転勤者を対象に）

シニア会員



Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2025年7月号 No.2

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 簡 仁一（茨木 RC）

2022年7月から25年6月まで、第3地域の ARPIC(ロータリー公共イメージコーディネーター補佐)を務めさせていただきました。

この3年間の活動において、携わり、最も心に残っているのが、世界ポリオデーイベントとして開催してきた「フォトコンテスト」です。

毎回、ポリオ根絶を願って展開された地区やクラブの活動、そして熱意を伝える様々な写真が寄せられてきました。

昨年の「RI 会長賞」受賞作は、仙台育英学園高等学校文化祭で、ポリオ根絶を訴えるチアリーディング部員の生き生きとした表情をとらえた「チアリーダーの『あと少し』」。ポリオ根絶まで「あと一歩」という思いがあふれるカットでした。この写真はもちろん、どの作品からも、ポリオ根絶への祈りが感じられ、魅せられたものです。



チアリーダーの「あと少し」 仙台東ロータリークラブ 仙台育英学園高等学校インターアクトクラブ

今年も、作品募集が始まっています。皆さんの願いを込めた多彩な写真をぜひ、お寄せいただければ、と思います。ロータリーは価値観を共有する人たちの集まりであり、会員の一人ひとりが広報マンといえるでしょう。私は、コロナ禍真ただ中の2020-21年度にガバナーを務めましたが、できること、できないこと、すべきこと、すべきではないことを模索する日々でした。この体験を通して、感じたのは、何かをすれば必ずリスクがある一方で、しないことによるリスクもあるのではないか、ということです。

今、改めて、「一人ひとりが広報マン」という意識を大切に、「フォトコンテスト」はもちろん、多彩なロータリー活動に取り組み、世の中とよい関係をつくっていければ、と実感しています。

3年間、ありがとうございました。皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、公共イメージ向上へのご理解が、さらに進むことを心から願っております。

トップページへ
戻ります



Sequence

10 2025年5月会員数報告

(アルファベット順)

クラブ名	2024年7月1日 会員数	2025年5月31日 会員数	2025年5月31日 女性会員数
足利	20	24	2
足利東	38	38	3
足利わたらせ	28	28	0
足利西	10	12	0
馬頭小川	15	16	0
今市	37	41	1
今市きぬ	26	26	0
岩舟	8	9	0
鹿沼	63	64	2
鹿沼中央	11	11	1
鹿沼東	41	44	7
烏山	14	14	2
黒羽	7	6	0
黒磯	33	34	3
葛生	39	39	0
益子	32	34	3
壬生	16	15	1
真岡	49	50	0
真岡西	38	40	5
日光	17	17	4
西那須野	43	43	3
大田原	19	19	2
大田原中央	21	18	1
小山	18	22	1
小山中央	23	24	2
小山東	22	22	0
小山北	24	26	0
小山南	15	16	2
佐野	47	49	0
佐野東	21	21	2
下野上三川	21	24	3
高根沢	11	12	1
田沼	43	44	0
栃木	43	43	6
栃木南	35	37	8
栃木西	29	30	0
氏家	27	27	3
宇都宮	93	90	4
宇都宮90	38	38	5
宇都宮東	102	99	0
宇都宮北	38	42	0
宇都宮さつき	23	23	4
宇都宮南	56	56	7
宇都宮西	64	66	0
宇都宮陽北	48	62	8
宇都宮陽南	19	18	5
宇都宮陽東	48	49	10
47RC	1533	1582	111
<RAC>			
足利東	3	4	
足利大学	16	14	
蔵の街とちぎ	5	5	
作新学院大学	25	4	
宇都宮東	4	5	
5RAC	53	32	

RC：各クラブよりご提出いただきました会員数報告を反映

RAC：MyRotaryより

Sequence

11 2025-26地区資金・基金予算書

Ⅰ 地区資金予算書

収入の部			基準会員数 1,650名	(単位:円)
科 目	金 額	備 考		
地区資金受入	14,850,000	9,000円×1,650名		
雑 収 入	500	前年度実績より		
当 年 度 収 入 合 計	14,850,500			
前 年 度 繰 越 金	18,739,983	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。		
合 計	33,590,483			
支出の部				
科 目	金 額	備 考		
＜委員会活動費＞				
地区研修委員会	20,000	会費・研修会費		
公共イメージ委員会	20,000	〃		
クラブ奉仕委員会	60,000	〃		
職業奉仕委員会	20,000	〃		
社会奉仕委員会	20,000	〃		
国際奉仕委員会	20,000	〃		
青少年奉仕委員会	80,000	〃		
ロータリー財団委員会	230,000	〃		
米山記念奨学会委員会	90,000	〃		
ローターアクト委員会	10,000	〃		
ロータリーの友委員	10,000	〃		
国際大会参加推進委員会	10,000	〃		
地区運営委員会	240,000	〃		
諮問委員会	345,000	〃		
指名委員会	10,000	〃		
地区会合	500,000	〃		
D X推進委員会	20,000	〃		
ガバナー補佐会費	100,000	〃		
R L I委員会	440,000	会費、会場費、資料代		
戦略計画委員会	20,000	会費		
小 計	2,265,000			
＜補 助 金＞				
地区大会	750,000			
地区研修・協議会	1,200,000			
次期地区委員研修会	700,000			
次期会長研修会	1,000,000			
I M	500,000	50,000×10グループ		
会長、幹事会	100,000			
ガバナーエレクト国際協議会旅費	2,200,000			
次期ガバナー補佐研修費	220,000			
ガバナー補佐活動費	1,175,000	25,000円×47 R C		
親善活動費	400,000	野球大会他		
拡大・増強活動費	400,000	新クラブ、インターアクト、ローターアクト		
広報活動費	150,000			
ローターアクト奉仕基金	400,000			
小 計	9,195,000			
＜納付金その他＞				
ロータリー文庫運営費	330,000	1名200円の割(上期 100円 下期100円)		
全国ガバナー会費	379,500	1名215円の割(上期 100円 下期130円)		
R I J Y E M維持協力金 注①	330,000	1名200円の割(上期 100円 下期100円)		
R I J Y E M賠償責任保険料	130,000	I A、R A、R Y L A、賠償責任保険料		
ロータリー研究会分担金	750,000			
旅 費	500,000			
登 録 料	700,000			
監 査 費	30,000			
年次報告書作成費	100,000			
雑 費	131,000			
小 計	3,380,500			
＜予 備 費＞				
当 年 度 支 出 合 計	14,850,500			
次 年 度 繰 越 金	18,739,983	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。		
合 計	33,590,483			

注① R I J Y E Mとは、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構の略。

Ⅱ 基金・協力金予算書

収入の部			基準会員数 1,650名	(単位:円)
科 目	金 額	備 考		
ガバナー月信作成料	1,980,000	1人当たり金額 1,200円x1,650名		
地区大会分担金	16,500,000	〃 10,000円x1,650名		
ガバナー事務所協力金	9,735,000	〃 5,900円x1,650名		
ガバナーエレクト協力金	825,000	〃 500円x1,650名		
青少年奉仕基金	9,240,000	〃 5,600円x1,650名		
ロータリー財団学友基金	165,000	〃 100円x1,650名		
2027年R研究会協力金(注③)	990,000	〃 600円x1,650名		
当年度収入合計	39,435,000	〃 23,900円x1,650名		
前年度繰越金	12,012,166	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。		
合 計	51,447,166			

支出の部

科 目	金 額	備 考
ガバナー月信作成料	1,980,000	
地区大会分担金	16,500,000	
ガバナー事務所協力金	9,735,000	
ガバナーエレクト協力金	825,000	
青少年奉仕基金 (注②)	9,240,000	青少年交換、I A C、R Y L A
ロータリー財団学友基金	165,000	
2027年R研究会協力金(注③)	990,000	
当年度支出合計	39,435,000	
次年度繰越金	12,012,166	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	51,447,166	

注②：青少年奉仕基金の中には、1年交換学生事業の青少年交換受入助成金が含まれます
クラブへの1年交換助成金(5名×800,000円=4,000,000円)

注③：2027年開催R研究会を主催する中谷R I 理事のホスト地区としての協力金

23-24年度 会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金9,000円+基金・協力金23,300円=32,300円
24-25年度 会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金9,000円+基金・協力金23,900円=32,900円
25-26年度 会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金9,000円+基金・協力金23,900円=32,900円

Ⅲ 危機管理等特定基金

危機管理等特定基金とは、青少年交換・VTT等に於ける不慮の事故及び震災・地区事務所移設・地区資金が不足した場合の基金です。

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
前年度より	40,019,633	定期預金・普通預金
雑収入	500	利息
合 計	40,020,133	

支出の部

科 目	金 額	備 考
次年度繰越金	40,020,133	
合 計	40,020,133	

トップページへ
戻ります